芦田川さかなマップ

2015年9月27日作成

※このマップは、一般社団法人 中国建設弘済会の助成を受けて作成したものです。

凡例

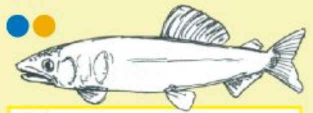
- ● 平成17年
- ● 平成18年
- ● 平成19年
- ● 平成20年
- ● 平成21年
- ● 平成22年
- ● 平成23年
- ● 平成25年
- ● 平成26年
- ● 平成27年
- 貴 きれいな川に住む魚など、芦田川にとって貴重な種類。

府中大渡橋

調査した場所

田畑の間に家がまばらにあるような場所で、比較的水はきれいである。川幅は広く、水の流れは早い。川の中に州がたくさんあり、草が茂っているため、水辺の生物にとって生きやすい環境だといえる。見つかる魚の種類が多く、アカザも見られる。川岸が整備され、川の中に入りやすくなっている。

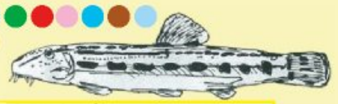
●●



アユ

本州全域に住んでいる。天然アユは減少しているため、琵琶湖などから稚魚を取り寄せて放流している。石の表面に付いている藻を食べる。中流に多くいる。

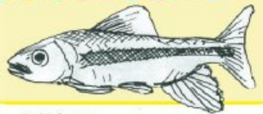
●●●●●●●●



シマドジョウ

本州、四国、九州の一部に分布し、冷たく水のきれいな水域の砂底にいる。眼下にとげがたたまれており、手でにぎると現れる。おどろいたりすると砂によくもぐる。川底で小型生昆虫、底生藻類、有機物を砂と一緒に食べ、砂だけを出している。

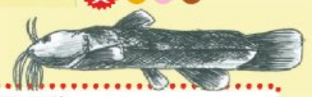
●●●●●●●●●●



カワムツ

本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな淵に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻などを食べる。太い1本の暗色の縦縞があるのが特徴。

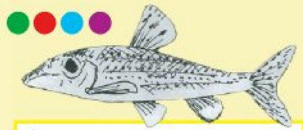
貴 ●●●



アカザ

宮城県・秋田県以南の本州、四国、九州に広く分布する。水が比較的きれいな川の中流から上流下部の瀬の石の下や間にすみ、石のすき間をかいくぐるように泳ぐことが多い。背ビレに1本、胸ビレに1本ずつ計3本の大きなトゲがあり、トゲには毒線があるのでさされると痛い。芦田川水系での生息数はきわめて少ない。

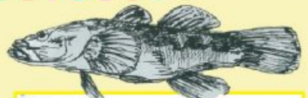
●●●●



ズナガニゴイ

近畿地方以西の限られた川にしかいない。川の中流から下流域に分布し流れのゆるやかな川底に住み砂にもぐって水生昆虫などを食べる。
普通のニゴイよりも体が小さいが頭と吻は長く、体側に小黒点の列がある。

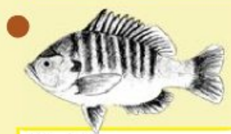
●●●●●●●●



ドンコ

東北を除く本州全域に住む。中流から下流に多い。夜行性の傾向が強く、砂底を好み、小魚・エビ・カニ・水生昆虫を食べる。広島県内では減少しているが、芦田川水系では、比較的安定した個体群がいる。

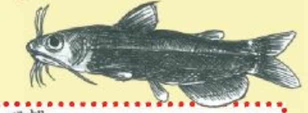
●



ブルーギル

原産地は北アメリカ中東部一帯で、現在は日本各地に分布。幼魚は暗褐色の横縞が入る。エラぶた上端に黒色の突起があるのも特長。

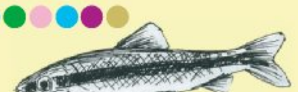
貴 ●●●●●●●●●



ギギ

本州中部以南、四国、九州の東部に分布し、比較的水がきれいで、石や流木、石垣などがあるところで見られる。背ビレと胸ビレのとげが発達していて、さされると激しく痛む。つかまえると胸ビレでギーギーなく。

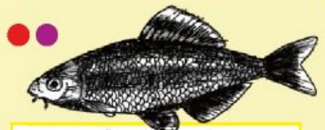
●●●●●●



ムギツク

琵琶湖以西の本州と、九州北部に分布し、大きな石があるようなところのよどみにいる。小さなおちょぼ口が上向きについている。すぐ物かげにかくれてしまう。石についている水生昆虫を食べる。

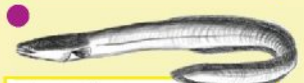
●●



ヤリタナゴ

北海道と南九州を除く各地に生息し、平野部の細流や用水路上部などの水の流れのある所にいる。ソウ類をよく食べマツカサガイやイシガイに産卵する。銀白色で体幅が著しく狭く、背ビレに黒い斑点がある。

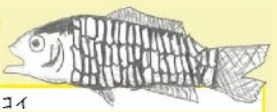
●



ウナギ

太平洋側は北海道の日高地方以南、日本海側は石狩り以南の日本各地に分布する。
背側は暗色で、腹側は白色。特別の斑紋はない。
春から秋に主として水生昆虫類、小型の魚類、貝類、エビ類、カエル類などを活発にとり、成長する。

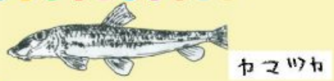
●



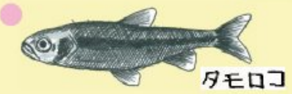
コイ

日本各地に分布。
流れのゆるやかな淵などにすむ。
岸辺の植物や浅瀬の水草などに産卵する。
雑食性で、底生動物のタニシやイトミミズ、水草などを食べる。

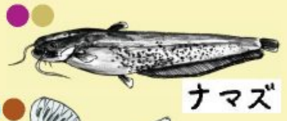
●●●●●●●●●●



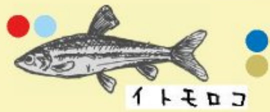
●



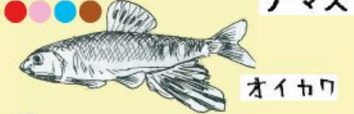
●●



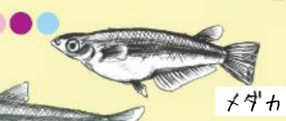
●●



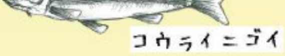
●●●●●●●



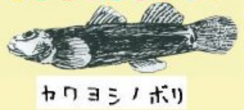
●●●



●●



●●●●●●●●●



府中大渡橋で見つけた生物

- ・ヌマエビ科
- ・テナガエビ
- ・カワニナ
- ・シジミ属
- ・カワゲラ
- ・ミズカマキリ
- ・アメリカザリガニ
- ・スジエビ
- ・ウシガエル
- ・ヒラタドロムシ
- ・コオニヤンマ
- ・カワトビケラ科
- ・コガタシマトビケラ
- ・ヒゲナガトビケラ
- ・ヒゲナガカワトビケラ
- ・ニンギョウトビケラ
- ・カゲロウ目
- ・トンボ目

みんなが選んだ！ 好きな生き物 トップ3

府中大渡橋	出口川
1. コイ	1. ギギ
2. ギギ	2. ドンコ
3. ナマズ	3. カワムツ

今年の人気者 ギギ

大渡橋と出口川でランクイン！

魚について勉強ができ、実際に川に入り体験できたことがよかった。

いろいろな魚の特徴がわかってよかった。

出口川
府中駅
出口川
府中大渡橋
下川辺駅

子供たちも夢中になって楽しむことができました。ちいさな生き物のためにも、川をきれいにする必要があることを子供たちもわかったようでよかったです。

水質調査結果（パックテスト等）

調査日:2015/9/27

項　目	地点名	
	芦田川 府中大渡橋	出口川
時間	12時00分	10時25分
気温（℃）	24℃	25℃
水温（℃）	22℃	23℃
透視度	100cm以上	100cm以上
pH	7.4	7.5
COD（mg/l）	10mg/L	11mg/L
亜硝酸（mg/l）	0.01mg/L	0.02mg/L
リン酸（mg/l）	0.05mg/L	0.13mg/L

ま と め

今年は、カワムツ、ムギツク、シマドジョウなど、比較的きれいな水質にすむ生き物がたくさん見つかったとともに、府中大渡橋では過去の調査ではみつかっていないコイが見つかりました。

また、出口川では、ひさしぶりにギギが見つかりました。

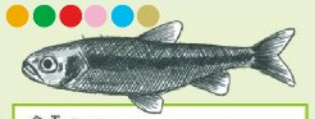
今後もさかなを通して、芦田川の健康状況を見守っていければと思います。

出口川

調査した場所

出口川は町の中をながれていて、生活排水が流れこむ川である。川岸には草が多く生えているが、頻繁に刈り込みが行われていて、魚のすみかが減っている。川幅が狭く流れがゆるい。川底は砂が積もっていて魚の種類が多く、カワヨシノボリが定着している。

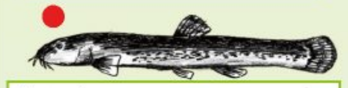
●●●●●●



タモロコ

山陽地方では全域で見られる。川の中、下流域の湖沼や池などのよどんだ水域にすんでいる。稚魚は淀みで動物プランクトンを食べ1年で成長し、成魚は動物質を中心とした雑食。以前は池などに多くいたが最近は見られなくなっている。

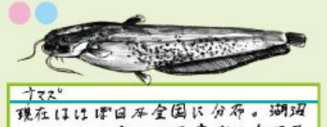
●



ドジョウ

日本全国に生息し体長約10cm分布し底生動物や水田、用水路などの泥底に住んでいて有機物を食べる雑食。農薬などに弱く、水路の工事などもあり激減、現在では、福山市内で見つけるのは極めて難しい。

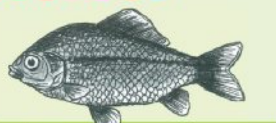
●●



ナマズ

現在はほぼ日本全国に分布。湖沼や河川の中流から下流域にかけて生息し、夜間に行動する。完全な肉食性できわめて貪欲。口に入るものならどんな生物も食べようとする。

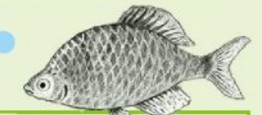
●●●●●●●



ギンブナ

全国各地に分布する。
川の下流の淀みや、平地の低湿地帯や沼地に生息する。雑食性で底生動物および藻類などのほかに、場所によって動物プランクトンなども食べる。ギンブナには、雄はいない。

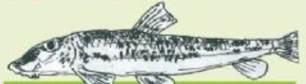
●



タイリクバラタナゴ

原産地はアジア大陸および台湾。
本州各地に分布。
流れの緩い場所に生息し、稚魚は主に動物性プランクトンを食べ、成長にともなって底層に移動して付着藻や小さな水生動物を食べる。

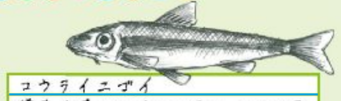
●●●●●●●●●●



カマツカ

本州、四国、九州に分布し、用水路の砂や石の川底で流れのある場所でみられる。口が下向きについていて、くちびるが大きくのびる。口からえさを砂ごとほおばり、エラ穴から砂を出しながら前進する。

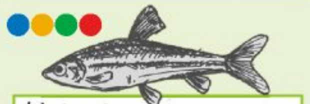
●●●●●●●●



コウライニゴイ

従来1種とされていたニゴイのなかに2種含まれていることが明らかになり日本での分布が確認された。中部地方から山陽地方、四国の大河川の中・下流に生息する。砂底を好み水生小動物や藻を食べる。

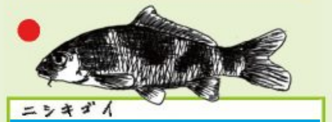
●●●●



イトモロコ

愛知県以西、九州北部まで住んでいる。
中流から下流に多い。芦田川では比較的上流側に分布しており、支流の淀みで多数群れていることがある。

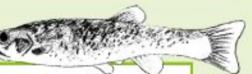
●



ニシキゴイ

正確な分布は移植が多いためはっきりしないが関東以西に生息し、水草の多い穏やかな流れの場所に住む。
河川の下流部や湖、沼を中心にさまざまな環境に生息する。
産卵は、6月～8月の日中に行われ、1匹のメスを数匹のオスが追いかける。雑食性で斑点の美しいコイの変種がニシキゴイと呼ばれる。

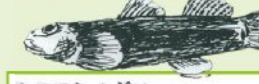
●



タカハヤ

日本海側では富山県以西、太平洋岸では静岡県以西の本州、四国、九州に分布し、上流部の植物の根回りなどでみられる。ウロコがとても小さく、体表はヌメヌメしている。

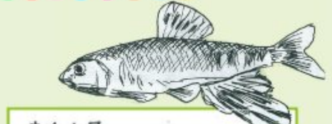
●●●●●●●●●●



カワヨシノボリ

中部地方以西の西日本に住む。上流中流の流れのゆるやかな所に住み、藻類や小型の水生昆虫を食べる。止水域ではなぜか生息できない。

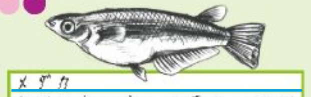
●●●●●●●●●●



オイカワ

関東以西の本州、四国、九州に分布し、河川中・下流域および湖沼に広く生息する。雑食で付着藻類から水生昆虫や落下昆虫、底生動物や浮遊動物などを食べる。また、成長にともなって食性転換が起こる。雄は、産卵期には、婚姻色が出て、とてもきれいだ

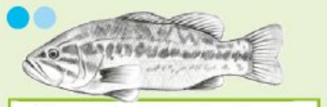
●●



メダカ

本州以南に広く分布し、池、水田や用水、河川の下流域など、流れの緩い場所に生息する。動物・植物プランクトンや水面に落ちた小さな昆虫などを食べる雑食性。近年は、水路のコンクリート化など開発が進み、次第に住み場が失われている。

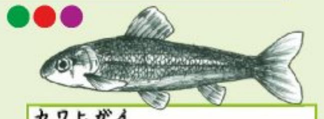
●●



オオクチバス（別名：ブラックバス）

北アメリカ原産で、今では国内のほぼ全域に分布している。止水や流れのゆるやかな河川に生息し、大きな口で魚類や甲殻類を食べる。体側から背にかけて不規則な暗斑があり、腹側が黄味を帯びた白色となっているのが特徴。特定外来種に指定されている。

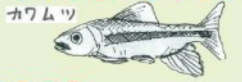
●●●



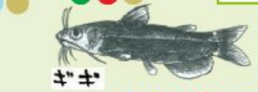
カワヒガイ

濃尾平野以西から九州北西部の中下流地域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きがみられる。動物食主体の雑食性。産卵はイシガイなどの二枚貝に行われる。

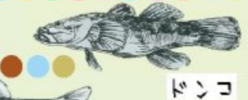
●●●●●●●●●●



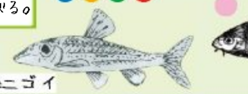
●●●



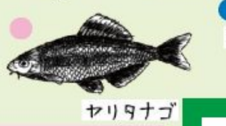
●●●●●●●●●●



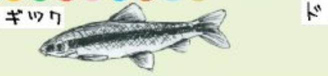
●●●●



●



●●●●●●●●●



参加者の作品

コウライニゴイ

カマツカ

出口川で見つけた生物

- ・アメリカザリガニ
- ・カワニナ
- ・コオニヤンマ
- ・サナエトンボ科
- ・ギンヤンマ
- ・アメンボ
- ・トノサマガエル
- ・シジミ属
- ・ナミウズムシ
- ・コガタシマトビケラ
- ・ヒラタドロムシ
- ・ヌマガエル
- ・スッポン
- ・ヒル
- ・ヒゲナガカワトビケラ
- ・ヌマエビ科
- ・オニヤンマ
- ・カワトンボ科
- ・コヤマトンボ
- ・ガムシ
- ・ゲンジボタル
- ・ミズムシ
- ・カゲロウ目